

» 導入事例

SAPジャパン株式会社

無線LANインフラの再構築をグローバルに実施 運用管理性の向上とセキュリティ強化に成功

ソフトウェアベンダ大手のSAPジャパン株式会社(以下SAPジャパン)では、無線LANインフラの再構築を実施した。同社ではスタッフの利便性向上と業務効率化を目指して無線LANの導入・活用を進めてきたが、従来の製品では運用管理やセキュリティなどの面で課題が生じていた。ちょうどこうした時に、世界中の拠点の無線LAN環境を再構築するプロジェクトがスタート。新たなインフラとして、アルバのモビリティソリューションが選ばれた。そこで日本においても、これまでの課題を解消すべく、早速導入作業に着手。アルバ製品の多彩な機能を活用することで、次世代に向けた新たな無線LAN環境を実現している。



SAPジャパン株式会社
SAP IT アジアパシフィックジャパン
シニアマネージャー

入江 幸一 氏



SAPジャパン株式会社
SAP IT アジアパシフィックジャパン
エンタープライズネットワークサービス
チームマネージャー/シニアコンサルタント

菅野 明氏



SAPジャパン株式会社
SAP IT アジアパシフィックジャパン
エンタープライズネットワークサービス
シニアコンサルタント

八木 馨氏

グループのITインフラを グローバルレベルで標準化

現代の基幹業務システムには、環境変化に即応できる柔軟性や、将来に向けた拡張性、発展性など、様々な要件が課せられている。こうしたニーズに応える多彩なソリューションを提供しているのが、ビジネスアプリケーションの世界的企業として知られる独SAP社だ。同社では金融・公共分野や製造業、サービス業など、様々な業種向けのソリューションを提供。また大企業のみならず、中堅・成長企業向け事業も強化している。

このSAPグループの日本法人として活動を展開しているのがSAPジャパンだ。同社の情報システム部門であるSAP IT アジアパシフィックジャパンの入江幸一シニアマネージャーは「当社はグローバル企業であるため、情報システム部門の業務領域も国内だけに留まりません」と語る。他国の拠点に障害が発生した場合には、日本の運用担当者がリモートで復旧対応を行うこともあるという。

こうしたグローバル運用が実現できるのには、一つの原因がある。SAPグループではITインフラを世界中で標準化しており、どの拠点でも同じ製品で環境を構築している。このため、他の地域で障害が発生しても、自国内のインフラと同じ感覚で作業が行えるのだ。入江氏は「最近ではすべての業務がネットワークを中心に動いているため、ネットワーク関連システムの信頼性・可用性向上には特に注意を払っています。また、ディザスタリカバリーや事業継続性確保への取り組みも強化し、万一の際にも迅速な業務復旧が行えるよう務めています」と力強く語る。

運用効率とセキュリティ向上を目指し 無線LAN環境の再構築に着手

同社では、ユーザーが効率的に業務を行える環境作りにも力を注いでいる。「社内のリフレッシュスペース

スなどでもネットワークが使えるよう、2003年頃より無線LANの導入を進めてきました」と説明するのは、SAP IT アジアパシフィックジャパン エンタープライズネットワークサービス チームマネージャー/シニアコンサルタント 菅野 明氏。もともと同社では、社員向けにフリーアドレスのワークスペースを用意していたこともあり、簡単にネットワークが利用できる環境が求められていた。「いつでもどこでも利用できる無線LANは、まさにこうしたニーズにピッタリ」(菅野氏)だったのである。

とはいえ、運用を続けていく中では様々な課題もあったとのこと。SAP IT アジアパシフィックジャパン エンタープライズネットワークサービス シニアコンサルタント 八木 馨氏は「特に大きかったのが、運用管理の煩雑さとセキュリティの問題です。大量のアクセスポイントを管理するには多くの工数が掛かりますし、システムの安全性向上も重要な課題でした」と振り返る。

ちょうどこうした時に、既設の無線LANインフラを見直すプロジェクトがグローバルレベルでスタートした。日本からもプロジェクトチームに現状の問題点などを提示。その結果新たに選ばれたのが、アルバのモビリティソリューションであった。

「アルバ製品の機能や特長には、旧システム時代から関心を持っていました。採用が決まったと聞いた時には、「やっぱり選ばれたか」という印象でした」と菅野氏は語る。

アルバのソリューションを導入し 無線LANシステムの集中管理を実現

グローバルでのアルバ採用決定を受けて、SAPジャパンでも早速導入作業に着手した。当初はシングル拠点からリモートアクセスポイントを利用して接続する案もあったが、日本は規模が大きく人数も多いため、コントローラごと設置する方法を選択。2台のAruba 6000が導入されている。また、APIにつ



リフレッシュスペースでも安全で安定したネットワークが利用可能



壁面に設置されたアクセスポイント (左:Aruba61 右:aruba65)



SAPジャパンはアルバ製品を活用することでIT環境の整備・拡充を推進し、ユーザーの業務効率・生産性向上に貢献している

いては、本社・茅場町オフィス・大阪・名古屋・福岡の各拠点に、Aruba 61と65を約80台設置。無線LANを利用するスタッフの数は、1,300名以上に達するとのことだ。

アルバ製品のメリットとして、八木氏はまず運用管理の容易さを挙げる。「以前の製品はAPごとに個別に設定を行わねばならず、遠隔地の拠点で問題があった場合なども、わざわざ現地まで出向く必要があった。その点アルバなら、モビリティコントローラ側でAPを集中管理できるため、こうした煩雑さがありません。今後APが増加した際にも、それに比例して工数が増える心配がないのありがたい」(八木氏)。

また、不正APを検知する「AirMonitor」機能も効果を発揮している。かつては不正APが設置されていないか調べるために、ノートPCにアンテナを付けて社内を巡回していた。しかし現在では人の足を使わずとも、システム側で自動的に検知を行ってくれる。

実は今回の構築作業では、AirMonitorについて一つのエピソードがある。移行中に従来導入されていた製品との並行稼働を行ったのだが、それらすべて不正APとして検知。しかも、会議室のAVシステムの無線リモコンまでが、不正APとして検知されたのだ。菅野氏は「該当機器を外リストに登録すれば良かったのですが、アルバを使うのが初めてだったこともあって、最初はビックリしました。でも、これがあって、AirMonitorの実力を知ることができました」と振り返る。

大幅に向上した使い勝手 無線LAN活用に大きく貢献

アルバ製品の使いやすさにも、高い評価が寄せられている。同社では都内の高層ビルの約5フロアをオフィスとして利用しているが、以前は階を上下した際などに通信が切れてしまい、再認証を余儀なくされるケースも多かった。しかし現在では、移動によって再認証が必要になることはほぼなくなっている。いちいちLANケーブルをつなぐのが面倒なので、ずっと無線LANを使っているユーザーも多いとのことだ。

構築に際してのサポートも大いに役立ったとのこと。八木氏は「アルバには「RFプランツール」のような便利なツールも用意されているので、簡単にAPを最適な場所に設置できます。以前は経験と勘が頼りでしたので、非常に効率が上がりました」と満足げに語る。

これまでは通信の暗号化にWEPを利用していたが、現在はより暗号強度の高いWPA/WPA-2が利用可能に。また、将来的に有線LANとの認証統合を検討しているため、802.1x認証をサポートしていることもアドバンテージとなっている。

さらに期待を掛けられているのが、ステートフル・ファイアウォールやロールベースVLAN/SSID VLANなどのセキュリティ機能だ。「パートナー企業の方が社内でもデモを行われるケースもあるのですが、以前はセキュリティ上の問題から無線LANを使ってもらうことができませんでした。その点、アルバはユーザーごとに権限やロールを設定できますので、こうした際にも有効に活用できます」と八木氏は語る。

今後に向けた抱負を「ネットワークは、いわば「見えない大きな力」ですので、担当の我々としても安定運用に力を注いでいきたい」と語る菅野氏。入江氏も「IT環境の整備・拡充を推進し、ユーザーの業務効率・生産性向上に貢献していきたい」と続ける。アルバのモビリティソリューションも、その取り組みの一端を担っていくのである。

(2007年12月現在)

ユーザー概要



SAPジャパン株式会社

本社	東京都千代田区大手町1-7-2
設立	1992年10月
資本金	36億円
従業員数	1,350名(2006年12月末現在)
URL	http://www.sap.com/japan/

事業概要:
ビジネスアプリケーションの世界的企業として知られる独SAP社の日本法人。「SAP Business Suite」などの大企業向け製品のほか、「SAP Business All-in-One」「SAP Business One」などの中堅・成長企業向け製品の提供も行っている。

SAP, SAP ERP, SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービスはSAP AGのドイツおよびその他の世界各国における登録商標または商標です。

■開発元



アルバネットワークス株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-4-1 日本地所ブルックスビル6階
TEL. 03-3265-4900 (代表)
FAX. 03-3265-4901
http://www.arubanetworks.co.jp

■販売代理店